

【株式会社ユキ商事 代表取締役 松下 幸生様プレゼント】

頑張っているひとり親家庭のお子様には1万円分の『商品券』をプレゼント！

第4弾 令和5年5月 対象：小学生・中学生・高校生等／第5弾 令和5年11月 対象：学生・高校生等

株式会社ユキ商事 代表取締役 松下幸生様より、令和5年も継続的に4回目・5回目と2度の温かいご厚意の寄附金のご寄贈を賜りました。松下幸生社長様のご意思に近い形として、長引いたコロナ禍に加えて物価高騰の追い討ちを受けて、経済的にも精神的にも辛い思いをしながら頑張っているひとり親家庭の子どもに、応援エールを送るプレゼント『1万円分の商品券』を各回100名ずつにプレゼントしました。

みんなの声



一万円分の商品券 本当にありがとうございました。冬休み明けのテストに向けてがんばっていききたいと思います。(子) P.S. とても嬉しかったです。

部活で使ったスポーツシューズもボロボロで買い替えなきゃいけないけど、一つ一つが高いから、1年生のうちは今のままでと思ってたけど、今回、頂いた商品券にて購入させてもらいました！本当に有り難うございました！感謝でいっぱいです。



この度はありがとうございました。より一層受験勉強に励みます。(子) 松下社長様のご厚意に心より感謝しております。勉強以上に大切なことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。(母)



『倍田白ゆり米』田植えイベント (R5年6月10日)



「コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭の親子に、新米『倍田白ゆり米』(あいちのかおり)を食べてもらおう！」企画(倍田(パイデン)計画 代表 松岡篤史様)の一環です。

社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会の田んぼ、参加した親子の田んぼ『倍田白ゆり米』を収穫して、参加した親子は勿論、辛い思いをしているひとり親家庭に新米『倍田白ゆり米』をお届けするという素敵な取り組みです。

場所は、岩倉市です。

田植えから稲刈りまでの作業は全て、持ち主の農家さん(杵本健一さん)にお任せです。

そして、耕作費用は、「倍田応援団」の皆様のご寄附で支えてくださるそうです。本日も、応援団の皆様がお越しくださいました。一反以上の田んぼから、今年は昨年より多い450キロ超のお米が収穫できそうです。

参加した子ども達は、杵本さんから、手植えの田植えの方法を学んで、泥に足を取らながらも、真剣な表情で、田植えをしました。

その後、杵本さんの運転する『田植え機』に交代で乗せてもらい、田植えを一緒にする体験も経験しました。働く車は、子どもにとって魅力的の様で、始終笑顔でした。

子ども達は田植えの後も楽しかったようで、お隣の田んぼで、全身泥んこ遊びも楽しみました。中にはムツゴロウの様に田んぼで泳いでいる子達もいて、泥まみれになって、ダイブしたり、全身で楽しさ楽しさ表現していました。

応援団の皆様も、親御さんと同様に、子ども達の飛びっきりの笑顔に、癒される楽しい幸せなひとときを満喫された様子でした。

たっぷり身体を動かした後の、美味しいカレーライス(勿論杵本さん作 愛知のかおり「倍田白ゆり米」)とつきたてのお餅(勿論杵本さん作の餅 米 きな粉、あんこ、醤油海苔巻き)に、とてもとても溢れる笑顔で感動した様子でした。

杵本さんのみで稲刈り

『倍田白ゆり米』稲刈りイベントをR5年10月15日に予定していましたが雨天のため残念ながら中止



『倍田白ゆり米』寄贈式 (R5年11月26日)

『新米倍田白ゆり米』500キロが届きました

過日、岩倉市で、子ども達もママも6月10日に田植え体験を楽しんだ『新米倍田白ゆり米』が届きました(稲刈り体験は10月15日に予定していましたが、天候不順で中止)

杵本健一さん、松岡篤史さん、田中信之住職(江南山 諦導寺)様、ご支援ご協力ありがとうございました。

ひとり親家庭の親子に明るい笑顔と元気を届けることが叶います。心より深く感謝申し上げます。

